

各 位

会社名 神田通信機株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 松丸美佐保  
 (JASDAQ・コード番号: 1992)  
 問合せ先  
 役職・氏名 常務取締役管理本部長 長澤 順一  
 電話番号 (03) 3252-7731

## 業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 5 月 14 日に公表した、業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

## 記

## ● 業績予想の修正について

平成 23 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)  
 (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	4,917	62	74	60	7円06銭
今回修正 (B)	4,516	△36	△15	△36	△4円33銭
増減額 (B-A)	△401	△98	△89	△96	
増減率	△8.1%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	4,668	49	63	49	5円83銭

## 修正の理由

平成 23 年 3 月期は、景気に一部持ち直しの兆しが見られたものの、先行きは依然として不透明な状況で推移したことにより、民間設備投資は伸び悩み、公共投資も抑制傾向にありました。また、平成 23 年 3 月 11 日に発生しました東日本大震災により、メーカーからの製品出荷が滞ったことなどにより、通期の売上高は 45 億 16 百万円となる見込みであります。

セグメント別には、建設事業では、大手・中堅企業の IP ネットワーク関連設備工事等がやや計画を下回って推移したことにより、33 億 28 百万円 (計画 37 億 62 百万円) となり、情報システム事業では、独立行政法人を中心とした公会計システムが計画を下回ったものの、社会福祉システム等がほぼ計画どおりに推移したため、11 億 20 百万円 (計画 10 億 87 百万円) となる見込みであります。また、不動産賃貸事業の売上高は 67 百万円と計画どおりに推移する見込みであります。

利益面につきましては、売上高がやや計画を下回って推移したことにより、営業損失は 36 百万円、経常損失 15 百万円となる見込みであります。当期純損失につきましては、資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う影響額 4 百万円と投資有価証券評価損 2 百万円を特別損失に計上することにより 36 百万円となる見込みであります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	—	0.00	—	3.00	3.00
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成22年3月期)	—	0.00	—	3.00	3.00

修正の理由

株主に対する利益還元は企業の基本的責務であり、配当額の決定は経営の重要施策のひとつと認識しており、安定的な配当継続を重視して株主への利益還元に努めておりますが、同時に、経済環境の変化に備えた財務体質の強化、ならびに将来の事業展開のための内部留保の充実に十分留意する必要があると考えております。

当期末の配当につきましては、当期純損失を36百万円計上するという厳しい業績予想に鑑み、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

※上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以 上